

会議名	令和6年度 第4回西尾市子ども・子育て会議
日時	令和7年3月17日(月) 午前10時00分～午前10時50分
場所	西尾市役所 51会議室
出席者	<p>委員 山口会長、日高副会長、野田委員、山崎委員、平田委員、小嶋委員、内田委員、榊原(稔)委員、結城委員</p> <p>事務局 子育て支援課…手嶋課長、高須課長補佐、本田課長補佐、下村主任主査、杉浦主査</p> <p>保育課…矢次課長、齊藤課長補佐、齋藤課長補佐</p> <p>家庭児童支援課…牧野課長、岡田課長補佐</p> <p>健康課…稲垣課長、水谷課長補佐</p> <p>株式会社サーベイリサーチセンター名古屋事務所</p>
傍聴者	2名
結果等	<p>1 パブリックコメントの結果について 事務局より、「西尾市こども計画(案)に対するパブリックコメント結果」について説明 委員からの質問・意見なし</p> <p>2 西尾市こども計画最終案について 事務局より、資料に沿ってこども計画最終案について説明 (主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画の対象年齢が幅広く、やることも広範囲に渡るため、中期的な計画、短期的な計画という形での絞りをしながら効果的な活動をしていけると良い。 ・1年目にすぐ取りかかるもの、5年かけて達成するものを振り分けして取組を進めていくことも良い。また、1年ごとの振り返りがすごく大事。 ・パブリックコメントの説明にもあったが、いただいたご意見を真摯に受けとめ、当然のように反映させるところが良い。西尾市はこどもを主体に考え、こども真ん中の計画を作っていかなければという考えのもとに動いているということを感じた。 ・こどもの権利は大事で、こども主体に考えこどもの意見を聴く、こどもに寄り添うということは大事だが、親がこどもを厳しくしつけてはいけなと思ひすぎて、こどもに伝えることをやめかけている。厳しいしつけはだめだが、大人の気持ちを伝える、教えてあげるということも大事。 ・今後5年の間でも、社会状況が変わり、国が色々な政策を出してくるので、それを取り入れながら計画に取り組んでいくというような一文が入るといい。

- ・今回の計画を、どうやって展開していくかが一番大変なところだと思う。1年ごとに検証し、その検証をもとに次の計画に活かすということがPDCAを回すということなので、そのように展開して行ってほしい。
- ・こども計画こども版の表紙イラストについて、真ん中が家族の絵になっているが、こどもが真ん中にいて、それを地域や大人たちが支えていくようなイラストの方が良い。
- ・「こどもが真ん中にいるまち」という理念について、「西尾市こども計画最終案」27ページに記載されている、「こども・若者のワークショップ」の意見を見ると、「居場所が欲しい」という結果であり、それがすごく大事なことで、こどもや若者の居場所をどうやって作っていくのかがキーポイントだと思う。それを踏まえ、49ページ5番「こどもの居場所づくりの推進」のところを見ると、子育て支援課が居場所を作っていくというように読み取れるところがあるが、市役所だけで頑張らないで、色々な人みんなで作って行けば良い。
- ・現在、市の中で重層的支援体制整備事業が進んでおり、こどもとか障害者とか高齢者といった縦割りではなく、総合的に相談や支援をしていくという体制づくりの話が進んでいる。例えば、今回の計画で「ヤングケアラー」の問題が取り上げられているが、障害者の支援が介護者の方にうまく届いていないという問題の結果だとも思う。市の施策が一丸となり取組み、市だけではなく色々な人や団体を巻き込んでやっていただきたい。

(事務局)

この計画は子育て支援課や子ども部だけではできない内容のため、色々な部署で連携を取りながら取組んでいきたい。また、1年目にどこまでやれるのかを見込みながら、2年目、3年目と進めていきたい。

3 その他

事務局より報酬の支払について説明し会議終了。